

Panorama English Communication 1 年間指導計画／CAN-DO／評価規準例

月	Lesson 題材を通して 学ぶ内容	時間	Lesson CAN-DO スキル別単元目標 ★は各単元の重点指導スキル		主な学習活動							評価の観点（Lesson CAN-DOに対応）／○◎は主に指導するスキル、◎は単元内または後日記録に残す評価場面の例							
					コーナー	L	R	SI	SP	W	題材・場面・言語活動・言語材料	知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度		
4	Lesson 1 Words to Live By 【言語・コミュニケーション】		[L] 人物についての会話や説明 を理解することができる。  [R] 人物についての英文の概要 や要点を理解することができる。  [SI (★)] 人物やその人の考えにつ いてやり取りすることができる。  [SP] 絵や写真を見せながら人物 について話すことができる。  [W] 自分の余暇の行動について簡 潔に書くことができる。  [Target Task／SI(★) ] 尊敬する人についてやり取りする ことができる。	導入	Warm-up		○				・写真の人物についての高校生同士の会話を聞いて内容を理解 する。 ・写真の人物について知っていることをやり取りする。				[L]/[R] 現在・過去・未来を表す表現を用い た文の意味や働きを理解し、人物や その人の考えについて話されたり書 かれたりした文章の内容を理解する 技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめる ために、人物やその人の考えについ て話された文章の概要や要点を捉え ている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめる ために、人物やその人の考えについ て話された文章の概要や要点を捉え ようとしている。		
					Passage/New Words/Listening		○	○			Part 1: 夢を持つことの力について理解する。 Part 2: 努力の大切さについて理解する。 Part 3: 人間には複数のチャンスがあることを理解する。					[R] 読んだ内容について書いてまとめる ために、人物やその人の考えについ て書かれた文章の概要や要点を捉え ている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめる ために、人物やその人の考えについ て書かれた文章の概要や要点を捉え ようとしている。		
					Key Ideas				○		・人物やその人の考えについての説明文を読んで概要や要点を 確認する。				[SI/SP] 現在・過去・未来を表す表現を用い た文の構造を理解し、人物やその人 の考えについて、情報や考え、気持 ちなどを、適切に話して伝え合っ たり伝えたりする技能を身に付けて いる。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人物 やその人の考えについて、基本的な 語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話 して伝えあったり伝えたりしてい る。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、人物 やその人の考えについて、基本的な 語句や文を用いて、情報や考え、気 持ちなどを、論理性に注意して話 して伝えあったり伝えたりしてい る。		
					The Gist					○		・人物やその人の考えについての説明文の要約をキーワードを 使って完成する。					[W] 自己紹介文を書く場面で、自分が余 暇にしていることについて、情報や 考え、気持ちなどを、基本的な語句 や文を用いて、論理性に注意して書 いて伝えている。	[W] 自己紹介文を書く場面で、自分が余 暇にしていることについて、情報や 考え、気持ちなどを、基本的な語句 や文を用いて、論理性に注意して書 いて伝えている。	
					Think and Talk					○		・人物やその人の考えに関係する身近な話題についてやり取り する。							
					Grammar						Part 1: 現在形／過去形の使い方を理解する。 Part 2: 現在進行形／過去進行形の使い方を理解する。 Part 3: 未来を表す表現の使い方を理解する。								
					Comprehension Check		○	○			○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながら人物について説明する。				◎			
					Test Your Skills		○				◎	・尊敬する人について姉妹校の生徒とビデオ通話をする場 面で、相手側の生徒の発表内容を聞いてメモする。 ・留学生がいるつもりで、尊敬する人についてやり取りする。	◎		◎	◎	[SI★] これまでに学んだ語彙や文法を活用 して、情報や考え、気持ちなどを、 適切に話して伝え合う技能を身に付 けている。  [ルーブリック評価の観点例： 文構造と時制の適切な使用]	[SI★] クラスメートや留学生と話し合いを する場面で、「尊敬する人」につい て、情報や考え、気持ちなどを、基 本的な語句や文を用いて、話して伝 え合うやりとりを続けている。	[SI★] クラスメートや留学生と話し合いを する場面で、「尊敬する人」につい て、情報や考え、気持ちなどを、基 本的な語句や文を用いて、話して伝 え合うやりとりを続けようとしてい る。
					Language in Action						○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認 する。 ・自分の余暇の行動について簡潔に書く。				◎	[備考] 1. 産出スキル（SI, SP, W）は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点 指導スキル(SI)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 （Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル（Listening, Reading）については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テスト や定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。		
					Listening Tips		○					・カタカナになっている英語の正確な発音に気をつけながら、 人物についての説明を聞いて理解する。				◎			
					Check Your Progress							・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったこと や、今後の目標について考える。					◎		

5	Lesson 2 My English Experience 【言語・コミュニケーション】	英語が役立つ場面について理解を深め、英語を学ぶ意義について考える。	<p>[L] 駅での会話やアナウンスを理解することができる。</p> <p>[R] 英語体験についての英文の概要や要点を理解することができる。</p> <p>[SI] お互いの英語体験についてやり取りすることができる。</p> <p>[SP] 絵や写真を見せながら他の人の経験について話すことができる。</p> <p>[W(★)] 日本の発明品について簡潔に書くことができる。</p> <p><b>[Target Task/W(★)]</b> 自分の英語体験について短い文章を書くことができる。</p>	導入	Warm-up	○	○		<p>・高校生と外国人旅行者との会話を聞いて内容を理解する。</p> <p>・写真を見て日本や海外で英語を使う場面についてやり取りする。</p>				[L]/[R] 助動詞・受動態・動名詞を用いた文の意味や働きを理解し、駅での会話・アナウンスや、高校生の英語体験について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、英語体験について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、英語体験について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
					Passage/New Words/Listening  Key Ideas  The Gist  Think and Talk  Grammar	○	○		Part 1: Aya の駅での経験について理解する。 Part 2: Ryo の海外家族旅行について理解する。 Part 3: Yui のオンラインでの英語経験について理解する。				[SI/SP] 助動詞・受動態・動名詞を用いた文の構造を理解し、高校生の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、英語体験について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、英語体験について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。
			Part 1   3	単元のまとめ活動	Comprehension Check	○	○	○	<p>・リスニングによるTF問題で内容を確認する。</p> <p>・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。</p> <p>・絵や写真を見せながら他の人の経験について説明する。</p>	◎			[W] 助動詞・受動態・動名詞を用いた文の構造を理解し、日本で発明された身近なものについて、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	[W] 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本で発明された身近なものについて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] 海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本で発明された身近なものについて、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
					Test Your Skills	○		◎	<p>・学校新聞に掲載するために、姉妹校から学校訪問に来た生徒に、英語が話せてよかったと思った体験についてインタビューした結果を聞いてメモする。</p> <p>・姉妹校に送る学校新聞に掲載するために、英語を使った経験や、英語を使ってみたいことについて短い段落を書く。</p>	◎	◎	◎	<p><b>[W★]</b> これまでに学んだ語彙や文法を活用して、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、適切に伝え合う技能を身に付けている。</p> <p>〔ループリック評価の観点例：文構造・文法の適切な使用〕</p>	<p><b>[W★]</b> 学校新聞に掲載する目的で、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて書いている。</p> <p>〔ループリック評価の観点例：英語体験についての説明の論理構成の適切さ〕</p>	<p><b>[W★]</b> 学校新聞に掲載する目的で、自分の英語体験について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて書こうとしている。</p> <p>〔ループリック評価の観点例：説明を最後まで書こうとする積極的な態度（書いた英文の量）〕</p>
					Language in Action			○	<p>・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。</p> <p>・日本の発明品について簡潔に書く。</p>	◎			<p>〔備考〕</p> <p>1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル (W)の評価は、単元終了後あるいは定期テストで記録に残す評価を行う。</p> <p>2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。(Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する)</p> <p>3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。</p>	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ペットや動物について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ペットや動物について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
					Listening Tips	○			・英語らしい語尾の発音に気をつけながら、駅、空港、ホテルで使われるアナウンスや表現を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress				・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
				導入	Warm-up	○	○		<p>・動物についての高校生同士の会話を聞いて内容を理解する。</p> <p>・写真を見てペットや動物についてやり取りする。</p>				[L]/[R] 不定詞・SVO(that節)・接続詞を用いた文の意味や働きを理解し、ペット	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ペットや動物について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、ペットや動物について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。

6	Lesson 3 Our Feline Friends 【生活】	ネコと人間の関わりやネコの生態について理解を深め、ペットとしての動物について考える。	<p>の英文の概要や要点を理解することができる。</p> <p>[SI] ペットや動物についてやり取りすることができる。</p> <p>[SP] 絵や写真を見せながらペットや動物について話すことができる。</p> <p>[W] 好きなペットについて簡潔に書くことができる</p> <p><b>[Target Task／R(★)]</b> ペット用品についての雑誌の記事を読み取ることができる</p>	<div>Part 1   3</div> <div> <div>Passage/New Words/Listening</div> <div>○ ○</div> <div>Part 1: ネコと人間の関係について歴史的経緯を理解する。 Part 2: ネコの生態についての情報を理解する。 Part 3: ネコ特有の行動とその科学的説明を理解する。</div> </div> <div> <div>Key Ideas</div> <div>○</div> <div>・ネコと人間の関係についての歴史的経緯やネコの生態などについての説明文を読んで概要や要点を理解する。</div> </div> <div> <div>The Gist</div> <div>○</div> <div>・ネコと人間の関係やネコの生態などについての説明文の要約をキーワードを使って完成する。</div> </div> <div> <div>Think and Talk</div> <div>○</div> <div>・ペットやネコの生態に関係する身近な話題についてやり取りする。</div> </div> <div> <div>Grammar</div> <div></div> <div>Part 1: 不定詞の使い方を理解する。 Part 2: S+V+O(that 節)の使い方を理解する。 Part 3: 接続詞の使い方を理解する。</div> </div>	や動物について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ペットや動物について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、ペットや動物について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。
				<div>単元のまとめ活動</div> <div> <div>Comprehension Check</div> <div>○ ○ ○</div> <div>・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながらペットや動物について説明する。</div> </div> <div> <div>Test Your Skills</div> <div>○ ◎</div> <div>・姉妹校の生徒がペットホテルについて説明する内容を聞いてメモする。 ・ペットビジネスについての資料を読んで内容を整理しながらメモする。</div> </div> <div> <div>Language in Action</div> <div>○</div> <div>・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・好きなペットについて簡潔に書く。</div> </div> <div> <div>Listening Tips</div> <div>○</div> <div>・内容語が強調して発音されることに気をつけながら、ペットについての会話を聞いて理解する。</div> </div> <div> <div>Check Your Progress</div> <div></div> <div>・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。</div> </div>	<div> <div>[SI/SP]</div> <div>不定詞・SVO(that節)・接続詞を用いた文の構造を理解し、ペットや動物に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。</div> </div> <div> <div>[W]</div> <div>不定詞・SVO(that節)・接続詞を用いた文の構造を理解し、ペットや動物に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。</div> </div>	<div> <div>[SI/SP]</div> <div>クラスメートにわかるように、ペットや動物に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。</div> </div> <div> <div>[W]</div> <div>自分のことについて理解してもらえるように、好きなペットについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。</div> </div>	<div> <div>[SI/SP]</div> <div>クラスメートにわかるように、ペットや動物に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。</div> </div> <div> <div>[W]</div> <div>自分のことについて理解してもらえるように、好きなペットについて情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。</div> </div>
			<p>[L] 将来の職業についての会話や説明を理解することができる。</p> <p>[R] 職業についての英文の概要や要点を理解することができる。</p> <p>[SI] 将来の職業についてやり取りすることができる。</p>	<div>導入</div> <div> <div>Warm-up</div> <div>○ ○</div> <div>・高校生と先生との会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て職業の種類についてやり取りする。</div> </div> <div> <div>Passage/New Words/Listening</div> <div>○ ○</div> <div>Part 1: 人気の職業の変化について理解する。 Part 2: 科学技術の進展と職業の変化の関係を理解する。 Part 3: 将来の職業で大切なスキルについて理解する。</div> </div>	<div> <div>[L]/[R]</div> <div>現在完了形・現在完了進行形・SV(be動詞以外) C(形容詞)を用いた文の意味や働きを理解し、職業について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。</div> </div>	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、職業について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、職業について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。
					<div> <div>[備考]</div> <div>1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。</div> </div>	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、職業について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、職業について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。





[illegible]





11・12	Lesson 8 Make People Shine: Choreo- director, MIKIKO 【人間・心理】	スペシャリストの仕事に対する考え方について理解を深め、将来の生き方について考える。	[L] 日常の行動についての会話や指示を理解することができる。  [R(★)] スペシャリストについての英文の概要や要点を理解することができる。  [SI] スペシャリストとその仕事についてやり取りすることができる。  [SP] 絵や写真を見せながらスペシャリストの業績について話すことができる。  [W] 身近な人などについて簡潔に書くことができる。  [Target Task／R(★)] Eメールで送られたプロフィールを読んで内容を理解することができる	導入	Warm-up	○	○		・高校生がもう一人の高校生に何をしているのかを尋ねる会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て、スペシャリストの仕事についてやり取りする。				[L]/[R] 仮定法過去・SVO＋動詞の原形・seem/appear to を用いた文の意味や働きを理解し、スペシャリストについて話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
				Part 1   4	Passage/New Words/Listening	○	○		Part 1: 振付師の仕事について理解する。 Part 2: Mikiko の主な業績について理解する。 Part 3: Mikiko の仕事上の哲学について理解する。 Part 4: Mikiko の海外での活躍について理解する。					[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、スペシャリストについて書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。	
					Key Ideas			○	・スペシャリストとその仕事についての説明文を読んで概要や要点を理解する。					[SI/SP] クラスメートにわかるように、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して話して伝え合ったり伝えたりしようとしている。	
					The Gist			○	・スペシャリストとその仕事についての説明文の要約をキーワードを使って完成する。					[W] クラスメートにわかるように、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、スペシャリストに関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。	
					Think and Talk				○	・仕事に関係する身近な話題についてやり取りする。						
					Grammar				Part 1: 仮定法過去の使い方を理解する。 Part 2: S＋V(使役動詞)＋O＋動詞の原形の使い方を理解する。 Part 3: S＋V(知覚動詞)＋O＋動詞の原形の使い方を理解する。 Part 4: seem/appear ＋to不定詞の使い方を理解する。							
					Comprehension Check	○	○		○	・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながらスペシャリストの活躍について説明する。	◎					
				単元 の ま と め 活 動	Test Your Skills	○	◎		・姉妹校の先生からの合同交流プロジェクトについての提案を聞いて、必要な情報をメモする。 ・Eメールで送られた合同交流プロジェクトのメンバーのプロフィールを読んで内容を整理する。	◎	◎	◎	[R★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、人物のプロフィールについて書かれた文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[R★] プロジェクトチームのメンバーを理解するために、人物のプロフィールを読んで、必要な情報を捉えている。	[R★] プロジェクトチームのメンバーを理解するために、人物のプロフィールを読んで、必要な情報を捉えようとしている。	
					Language in Action				○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・身近な人などについて簡潔に書く。	◎			【備考】 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (R) の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		
					Listening Tips	○				・音声を聞いて意味をすぐにイメージすることに気をつけながら、指示を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress					・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
		第2学期の評価（中間考査・期末考査・パフォーマンス評価）									知	思	態	知識・技能 思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度		
			◎				リスニング問題（概要・要点・意図）		◎		短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。					





				単 元 の ま と め 活 動	Test Your Skills	○ ◎					・旅行先の博物館の展示アナウンスを聞いて、必要な情報をメモする。 ・ブログに旅行記を載せるために、博物館ツアーの説明を聞いて要点をメモする。	◎	◎	◎	[L★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、ツアーガイドの説明を聞いて内容を理解する技能を身に付けている。	[L★] ブログに旅行記を載せるために、ツアーガイドの説明を聞いて、概要や要点を捉えている。	[L★] ブログに旅行記を載せるために、ツアーガイドの説明を聞いて、概要や要点を捉えようとしている。	
					Language in Action					○		・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・タイムマシンでしたいことについて簡潔に書く。	◎			【備考】 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 (Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する) 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。本単元の重点指導スキル (L)の評価についても、授業中の小テストや、後日実施する定期テストで評価する。		
					Listening Tips	○					◎	・話の大まかな流れを理解することに気をつけながら、自転車の歴史についての説明を聞いて理解する。	◎					
					Check Your Progress							・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎			
				Part 1   4	導入 Warm-up	○		○			・高校生同士の週末の予定に関する会話を聞いて内容を理解する。 ・写真を見て地球の環境に何が起きているかについてやり取りする。				[L]/[R] 過去完了形・過去完了進行形・SV(be動詞以外) C (現在分詞/過去分詞) を用いた文の構造を理解し、環境保護について話されたり書かれたりした文章の内容を理解する技能を身に付けている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、環境保護について話された文章の概要や要点を捉えている。	[L] 聞いた内容について書いてまとめるために、環境保護について話された文章の概要や要点を捉えようとしている。	
					Passage/New Words/Listening	○	○				Part 1: R. カールソンの環境保護への貢献を理解する。 Part 2: アンダーソン飛行士の環境保護への貢献を理解する。 Part 3: 地球環境の現状と科学者の貢献を理解する。 Part 4: 環境保護のために何が必要かについて理解する。				[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、環境保護について書かれた文章の概要や要点を捉えている。	[R] 読んだ内容について書いてまとめるために、環境保護について書かれた文章の概要や要点を捉えようとしている。		
					Key Ideas			○			・環境保護についての主張文を読んで概要や要点を確認する。						[SI/SP] クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えあったり伝えたりしている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えあったり伝えようとしている。
					The Gist			○			・環境保護についての主張文の要約をキーワードを使って完成する。						[SI/SP] 過去完了形・過去完了進行形・SV(be動詞以外) C (現在分詞/過去分詞) を用いた文の構造を理解し、環境保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に話して伝え合ったり伝えたりする技能を身に付けている。	[SI/SP] クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、基本的な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを、論理性に注意して話して伝えあったり伝えようとしている。
					Think and Talk				○		・環境保護に関する話題についてやり取りする。						[W] クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えている。	[W] クラスメートにわかるように、環境保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、基本的な語句や文を用いて、論理性に注意して書いて伝えようとしている。
					Grammar						Part 1: 過去完了形 (完了・結果/経験) の使い方を理解する。 Part 2: 過去完了形 (継続) の使い方を理解する。 Part 3: 過去完了進行形の使い方を理解する。 Part 4: S+V(be動詞以外) +C(現在分詞・過去分詞) の使い方を理解する。						[W] 過去完了形・過去完了進行形・SV(be動詞以外) C (現在分詞/過去分詞) を用いた文の構造を理解し、環境保護に関する話題について、情報や考え、気持ちなどを、適切に書いて伝える技能を身に付けている。	
					Comprehension Check	○	○		○		・リスニングによるTF問題で内容を確認する。 ・グラフィックオーガナイザーで内容を確認する。 ・絵や写真を見せながら地球環境保護について説明する。	◎						
2 ・ 3	Lesson 10 Loving the Earth 【環境】  環境保護への人間の取組について理解を深め、自分たちに今何ができるかについて考える。		[L] 環境保護についての会話や説明を理解することができる。  [R] 環境保護についての発表の概要や要点を理解することができる。  [SI] 環境保護についてやり取りすることができる。  [SP(★)] 絵や写真を見せながら地球環境保護についてプレゼンテーションをすることができる。  [W] 自分や身近な人が環境を守るためにしていることを簡潔に書くことができる。  [Target Task/SP(★)] ミニディベートで主張を発表することができる。															

				単 元 の ま と め 活 動	Test Your Skills	○			◎	・学校新聞の記事にするために、姉妹校の生徒が日本の学校文化について話し合った内容を聞いて整理してメモする。 ・ミニディベートで、理由・具体例とともに、主張を発表する。	◎	◎	◎	[SP★] これまでに学んだ語彙や文法を活用して、与えられたトピックについて、主張を理由・具体例とともに適切に話して伝える技能を身に付けている。  [ルーブリック評価の観点例: 文構造と時制の適切な使用]	[SP★] オンラインで姉妹校の生徒とミニディベートをする場面で、与えられたトピックについて、主張を理由・具体例とともに適切に話して伝えている。  [ルーブリック評価の観点例: 主張と理由・具体例の論理的適切さ]	[SP★] オンラインで姉妹校の生徒とミニディベートをする場面で、与えられたトピックについて、主張を理由・具体例とともに適切に話して伝えようとしている。  [ルーブリック評価の観点例: 会話を続けようとする積極的態度]	
					Language in Action				○	・本課のターゲット文法や活用頻度の高い表現の使い方を確認する。 ・自分や身近な人が環境を守るためにしていることを簡潔に書く。	◎			【備考】 1. 産出スキル (SI, SP, W) は日々の指導とfeedbackを通して単元を通して育成する。本単元の重点指導スキル(SP)の評価は、後日パフォーマンス評価（一人1分程度）で記録に残す評価を行う。 2. 毎日の授業で、生徒の学習状況、特に、主体的に学習に取り組む態度の把握と育成に努める。 （Check Your Progressや 振り返りシートなどを活用する） 3. 受容スキル (Listening, Reading)については、授業で生徒の弱点の把握と適切な指導をし、小テストや定期テストで弱点の補強ができているかどうかを評価する。			
					Listening Tips	○				・話し手の中心的主張に気をつけながら、プラスチックゴミに関するミニディベートを聞いて内容を理解する。	◎						
					Check Your Progress					・自分の言語活動の状況を振り返り、できるようになったことや、今後の目標について考える。			◎				
				第3学期の評価（期末考査・パフォーマンス評価）								知	思	態	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
				期末考査		◎			◎	リスニング問題（概要・要点・意図）  リーディング問題（語彙・文法）  リーディング問題（概要・要点・意図・論理構成）  ◎課題作文問題		◎		◎	目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。  英文の書かれた目的に応じて概要・要点・意図・論理構成を読み取っている。 与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	短い対話や発言を聞いて、概要・要点・意図を理解している。  目安として提示された分量の英文を書いている。	
				パフォーマンステスト （期末考査とは別の時期に実施）					◎	予め5つの身近な論題を指定し、その場で選んだ論題について、賛否の立場を決め1分間で主張を論じる。（L10のゴールタスクの応用）			◎	◎	与えられた論題に対し自分の立場を明確にして理由・具体例とともに述べている。	30秒以上自らの主張を述べ続けている。	
				小テスト					◎	場面に応じた会話完成問題 単文レベルの英作文問題	◎				目的・場面・状況に応じた語彙・文法の使い方を理解している。		
				課題・提出物					◎	振り返りシート＋課題: Lesson 10 のゴールタスク（ミニディベートで主張を発表する）への取り組みについての振り返りシートの記述と、ミニディベート活動への取り組み状況の評価		◎	◎		与えられた課題に対して明確な主張とその理由・具体例を書いている。	自らの学びのプロセスを自己認識し、記録に残しながら課題に取り組もうとしている。	